



平成29年 8 月 17 日

長野市長 加藤 久雄 様

長野市中心市街地活性化  
基本計画評価専門委員会  
委員長 竜野 泰一

第二期長野市中心市街地活性化基本計画の実績に係る評価  
及び計画の変更について（答申）

平成27年11月12日付27まち第204号で諮問があったこのことについて審議した結果、当委員会としての意見は下記のとおりです。

記

1 実績に係る評価について（平成28年2月5日報告済み）

- ・目標②「住みたくなるまち」の人口割合に関して、再開発マンションによる評価だけでなく、リノベーション活用を推進する民間の取組についても積極的に評価されたい。
- ・目標③「歩きたくなるまち」の歩行者通行量に関して、長野駅前の歩行者専用通路整備による人の流れの変更を加味した結果として評価されたい。
- ・目標③「歩きたくなるまち」の空き店舗数に関して、時間帯や曜日別の調査があると状況分析がより深まるものと考える。
- ・目標④「参加したくなるまち」の施設利用者数に関して、新たに整備された権堂イーストプラザ市民交流センターの利用も加味して評価されたい。

2 計画の変更について

- ・第二期中心市街地活性化基本計画の期間満了を受け、今後とも将来的な国の認定を念頭に置きつつ、長野市独自の中心市街地活性化プランを策定することで、引き続き中心市街地の活性化に積極的に取り組まされたい。

（理由）

中心市街地の活性化に向けて第二期までの計画が果たした役割は大きく、まちづくりの中長期的な一貫性を確保するためには、国の認定に先行してでも、総合的な推進体制による施策の継続とフォローアップにより引き続き活性化を図ることが必要と認められるため。